

# 教科総務部資料

## 【新規団員が用意する費用について】

マラヤ大学予備教育センター A A J 教科総務部

赴任に際しての旅費や宿泊費などは、マラヤ大学の規定により支給されますが、来馬の準備や当初の生活のために自己負担金が必要となります。その概算を以下に示しますので参考にしてください。

なお、この中には、後に手当として支給されるものも含まれています。また、家族構成や車の購入、海外保険の加入の有無、また換金レートにより費用は異なりますので、ご注意ください。

### 1 必ずかかる費用 (90万~100万円)

#### (1) コンドミニアムの契約金等 60万円

団員が入居するコンドミニウムを確保するため、事前に契約をしておきます。その際、コンドミニアムの敷金2ヶ月や4月分部屋代、インターネット契約等で必要となる金額です。残った額は来馬後に返金します。この60万円は1月下旬頃、副教科長宛てに海外送金をしてもらいますので、それまでに準備してください。保証金(家賃0.5ヶ月分)は、コンドミニアムの補修等が必要な場合はその費用に充当され、それを差し引いた残金がコンドミニウム解約時に返金されることになっています。

#### (2) 生活費(4,5月分)+家賃5月分 約30万~40万円

マラヤ大学からの給料や、文部科学省からの手当は例年5月下旬に振り込まれます。その間の生活費は自分で準備しておく必要があります。これは日本出発までに準備する費用になります。

※部屋代は住居手当として文部科学省から支給されます。(例年4月来馬の場合は5月以降)

### 2 必要に応じてかかる費用(個人により異なります)

#### (1) 自動車

新車購入の場合 120万円~250万円、リースの場合 5万円(保証金)+5万円(月額)

こちらで自家用車があると大変便利で、現団員はほぼ全員が所有しています。(車購入の場合は帰国時に売却でき、新車の場合は使用2年で購入時の6割から8割の価格で売却できます。)

#### (2) 予防接種

渡航前に予防接種を受けることが推奨されています。(A型肝炎、B型肝炎、破傷風、日本脳炎等)種類、価格については、病院でご相談ください。(一人当たり) 数万円~20万円

#### (3) 来馬用生活用品準備および常備薬等準備 数万円~10万円

#### (4) 海外旅行保険(1人当たり2年間) 30万円~40万円

この保険の加入は任意ですが、高額な医療費支出に備えて利用している団員もいます。保険会社が提携している病院では、日本語での受診やキャッシュレスサービスが利用できます。詳細は文部科学省の説明会で説明があります。費用は利用する保険会社や契約内容により調整できますので、保険会社に相談してみるとよいでしょう。

※ 海外旅行保険に加入しない場合でも、マラヤ大学の指定病院にて無料で受診することもできます(無料受診できない疾病もあります)。ただし、英語またはマレー語での問診となります。また、一般の病院でも、現役教員は所定の書類を提出することにより、帰国後に公立学校共済から約7割の還付を受けることができます。

#### (5) 教育費(クアラルンプール日本人学校の場合)

6月までに必要な経費は、入学金、授業料、スクールバス料金など (1人当たり) 約50万円

# 教務部資料

マラヤ大学予備教育センター AAJ 教科教務部

## 1 目的

マラヤ大学予備教育センター日本留学特別コース（以下、AAJ）は2年制で、学生に、EJU（日本留学試験）及び修了試験に合格し、留学先である日本の国立大学での学習に支障なくついていけるような学力を付けさせることを目的としています。このEJUは2007年度から導入され、現在では、この結果と修了試験の成績、2年間の出欠状況などを総合して日本留学の可否が判定されています。

## 2 学習指導内容

AAJでは、約1年半の短い期間で、日本の高校3年分の授業内容を学習することになります。そのため、各教科で教材や指導方法を工夫し、授業を実施しています。詳細は各教科のページをご覧ください。

## 3 授業時数と授業展開

AAJでの2年間は、セメスターⅠ（1年前期）～セメスターⅣ（2年後期）で構成されています。授業日は月～金曜日で、1日8時間授業（午前：1～5、午後：6～8）です。ただし9時間目に、LHRや補習の授業を行うこともあります。今年度の各教科の1週間あたりの授業時数は下表のとおりです。

	数学	物理	化学
セメスターⅠ（1年前期）	4	3	3
セメスターⅡ（1年後期）	8（数学 $\alpha+\beta$ ）	5	5
セメスターⅢ（2年前期）	10（数学 $\alpha+\beta$ ）	9	8
セメスターⅣ（2年後期）	未定	未定	未定

※ 学生は、各教科の授業以外に日本語や英語の授業等も受講します。

### (1) セメスターⅠ（1年前期）

2022年度まではローカル教員とチームティーチング形式で授業を行っていましたが、カリキュラムが改訂され、2023年度からは主に日本人教師が英語を用いて授業を行います。授業内容は、現在各教科で検討しています。

### (2) セメスターⅡ（1年後期）～セメスターⅣ（2年後期）

日本語を用いて各教科（数学、物理、化学）の授業を行います。数学は数学 $\alpha$ と数学 $\beta$ に分かれそれぞれ4クラス編成となり、セメスターⅢからは習熟度別クラス編成となります。物理と化学は5クラス編成で授業を実施しています。また、EJU前には、各教科で習熟度別に分けて授業をするなど、学生の理解をより深める工夫をしています。また、物理・化学では、実験を行う機会もあります。

## 4 定期試験

セメスターごとに中間試験・期末試験があります。ただし、セメスターⅣは修了試験のみです。学生が次のセメスターに進級するためには、試験結果や平常点等による成績が合格の基準を超える必要があります。

## 5 学生の在籍数

令和6年5月1日現在、2年生44名が在籍しています。1年生については、通常であれば5月入学ですが、コロナウィルスの影響により今年度も8月に入学する見通しです。

## 6 教科指導以外の内容

セメスターⅡからクラス担任を配置し、必要な連絡や指導等を行います。セメスターⅢ以降は、よりきめ細やかな指導を実践できるよう、クラス担任に加えて学生一人ひとりに学生担当教員を配置し、個人面談・進路指導等を行っています。学生担当教員は一人につき学生3名程度を担当します。

# 数学科指導状況

## 1 指導範囲

日本留学試験（以下 EJU）のシラバスを基に指導します。日本の高校のカリキュラムとほぼ同じで、旧課程の数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bの一部を除いたほぼ全ての内容を指導します。また、日本の大学受験指導と同様、EJU に向けた発展的な内容の指導も行います。さらに、修了試験後は学習指導要領外の内容や日本の実際の大学入試問題、大学の教養程度の内容なども指導しています。

## 2 使用教材（2024 年度）

2 年生	教科書	数研出版	改訂版	新編	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B
	問題集	数研出版	改訂版		基本と演習テーマ数学Ⅰ+A, 数学Ⅱ+B, 数学Ⅲ
	参考書	数研出版	増補改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅰ+A (青チャート)
			増補改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅱ+B (青チャート)
			改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅲ (青チャート)
				AAJ 作成オリジナルテキスト	
1 年生	教科書	数研出版	改訂版	新編	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B
	参考書	数研出版	増補改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅰ+A (青チャート)
			増補改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅱ+B (青チャート)
			改訂版	チャート式	基礎からの数学Ⅲ (青チャート)
				AAJ 作成オリジナルテキスト	

## 3 授業の進め方

私たち日本人教員は、予備教育センター日本留学特別コース1年生の6月(2023年度は8月)から週2時間の授業を主に英語で行います。10月中旬からの授業では、少しずつ日本語を増やして行きます。12月以降は、主に日本語を用いて授業を行います。翌年11月の第2回EJUまでの約18ヶ月間(2023年8月入学生は16ヶ月間)で日本の高校3年分の内容を指導し、EJUに向けて留学に必要な学力を育成します。さらに、本コースの修了試験に合格し、最終的には日本の大学の数学の講義に対応できるような学力を育成することを目標としています。

学生たちがこれまでにマレーシアで学習してきた内容は、日本の高校のカリキュラムと約半分が重複しています。しかし日本とマレーシアでは、指導の観点に加え、EJU で出題される問題の形式も日本の大学入試と大きく異なります。そのため、日本の高校生が学習する内容を最初から日本式でやり直す必要があります。また、多くの学生たちは日本留学特別コースに入学してから日本語を学び始めるため、数学の授業においては最初は英語で説明したり、なるべく易しい日本語に置き換えたり、ふりがなや単語を併記したりして、ゆっくり簡潔な説明を心がけながら指導して行きます。見方を変えると、数学の授業を通した日本語の指導という側面もあります。

授業を展開するに当たっては、教科会議で検討した年間計画にしたがって進度表を作成し、各週の会議で目線合せをしながら、全てのクラスで同じ進度、同じ内容の授業をしています。定期試験の他に、毎時間の小テスト、単元テストや課題テストなどを随時行うことで学力の定着を図っています。また、テストごとにデータを分析し、必要に応じて学生にテストのやり直しを行わせるほか、各学生の学力に応じて補習を実施しています。さらに、2023年からは2年生の5月からの Semester III, EJU 問題演習の授業においては、習熟度別クラス編成を実施しきめ細かな指導をしています。

現在は、8名の日本人教員が在籍しており、常に目標を念頭に置いた上で議論を交わしながら、全員で全学生を指導していくという体制で教科指導を行っています。

## 4 その他

授業で使用するテキスト、演習プリントや小テスト、復習を目的とした課題プリント等を数学科全員で分担し、作成しています。これらは主に数研出版のスタディーエイドで作成しています。その他にも日本留学試験問題集、大学入学共通テスト問題集、全国大学入試問題正解(旺文社)等の参考資料も備えています。

# 物理科指導状況

## 1 指導範囲

AAJでの物理の指導範囲は以下のとおりです。学習指導要領の内容に概ね沿って指導しています。各分野とも、物理基礎・物理の内容を統合して指導しています。なお、マレーシアの高校では学習していない内容や分野があります。

- (1) セメスターⅠ（1年生前半） 運動の表し方，落体の運動
- (2) セメスターⅡ（1年生後半） 運動の法則，力学的エネルギー，運動量，円運動と万有引力，熱力学
- (3) セメスターⅢ（2年生前半） 波，電気と磁気，原子，EJU 過去問題演習
- (4) セメスターⅣ（2年生後半） 修了試験対策，学生実験

## 2 使用教材（2024年度）

- (1) 物理科作成「分野別テキスト」
- (2) 物理科作成「EJU 物理問題集」
- (3) 物理科作成「公式集」
- (3) 教科書「総合物理①，総合物理②」（数研出版）
- (4) 問題集「セミナー物理 物理基礎＋物理」（第一学習社）
- (5) 問題集「フォローアップドリル 物理基礎・物理」（数研出版）

## 3 授業の進め方

### (1) 指導目標

- ① 基本的な物理概念を理解させる。
- ② 興味関心を持って，物理的な視点で自然現象を探究する態度を育成する。
- ③ 全員がEJU 試験に合格できる学力を身につけさせる。

### (2) クラス形態

- ① 1クラスを教員1名が担当し，5クラス同時展開で授業を行います。ただし，入学当初は大教室で一斉授業を行います。また，2年生後半の学生実験では，クラスを解体して数種類の実験を行います。
- ② 通常は学力を均等にしたクラスで授業を行います。2年生のセメスターⅢの途中からは，習熟度別クラス編成を実施します。

### (3) 授業について

- ① あらかじめ作成した進度表に従い，5人の教員が同じ進度で授業を行います。小テスト，週末課題，単元テストも共通して実施します。
- ② セメスターⅠからⅢまでは，主に「分野別テキスト」を使用して，基本的事項の説明と問題演習を繰り返すパターンで授業を進めます。また，セメスターⅢでは，「EJU 物理問題集」を用いた既習事項の復習とEJUの過去問演習も並行して行います。
- ③ 入学当初の授業は主に英語で説明します。日本語は物理の用語を教える程度です。少し日本語に慣れてくると，簡単な日本語を用いて説明を加えていきます。このように，学生の日本語習熟度に合わせて，日本語の使用頻度を高めています。特にセメスターⅠのテキストは日本語と英語を併記しています。
- ④ 授業では物理の概念や解き方を教えるとともに，日本語で書いてある説明文や問題文の意味を理解させることが重要です。学生への説明は簡単で正確な日本語を話すこと，そして，文章を細かく区切ることを心がけなければなりません。
- ⑤ 多くの発問を投げかけ，学生，教員双方向のコミュニケーションを大切にしています。
- ⑥ 可能な限り演示実験や実験動画の提示を行って，学生の興味関心を高めるとともに，物理現象のイメージ化を図っています。

## 4 その他

- ① 授業でプロジェクターを使用しますので，ノートPCやタブレット等を持参してください。また，HDMIケーブル等を持参してください。

- ② 日本で使い慣れた参考書，問題集，デジタル教材などは持ってくると役に立ちます。
- ③ 簡単で面白い演示用の実験器具や材料があれば，ぜひお持ちください。物理科内で共有して活用させていただきたいと思います。

# 化学科指導状況

## 1 指導範囲

EJU のシラバスに沿った内容を指導しています。日本の高等学校の授業内容とほぼ同じですが、学生の日本語での授業への取り組みやすさを考えて、項目の並びを変えています。

セメスターⅠ…1年生(前半) Introduction・化学の基礎(化学で使う日本語)・酸と塩基①  
セメスターⅡ…1年生(後半) 酸と塩基②・酸化と還元・気体の法則・状態変化・熱化学  
セメスターⅢ…2年生(前半) 原子・化学結合・溶液の性質・有機化学・高分子化合物・無機化学  
セメスターⅣ…2年生(後半) EJU 対策授業・実験 等

## 2 使用教材(2024年度)

教材: 学習テキスト(AAJ化学科作成) 他

教科書: 高等学校化学基礎(東京書籍)・高等学校化学(東京書籍)

問題集: セミナー化学基礎+化学(第一学習社)・実践アクセス総合化学(浜島書店)

資料集: スクエア最新図説化学 六訂版(第一学習社)

## 3 授業の進め方

### (1) 指導目標

- ① EJU に合格する学力を身に付けさせる。
- ② 日本での化学教育を受ける際に支障がないように、化学の基礎用語・知識を身に付けさせる。
- ③ 科学的な見方・論理的思考力を養う。EJU に合格する学力を身に付けさせる。

### (2) クラス形態

- ① 1クラスに対して教員1名が授業を担当し、5クラス同時展開で行います。  
※セメスターⅠやその他、クラス形態が異なる場合があります。
- ② 通常は学力を均等にして編成したクラスで授業を行います。
- ③ セメスターⅢ途中からは、EJU 対策のために習熟度別クラスで授業を行います。

### (3) 授業について

- ① 化学科で作成した学習テキストを中心として授業を進めます。学習テキストをホワイトボードにプロジェクターで直接投影し、マーカーで書きこむ形式で授業を行います。
- ② 单元ごとに作成された進度表に従い、5人が共通進度で授業を行います。
- ③ 実験を行う場合、器具や試薬を借りることができますが、オフィスへの事前申請が必要です。動画やアニメーションなどのデジタル教材も有効に活用しています。
- ④ 日本語習熟度を確認しつつ、短文を使いながら、ゆっくりと説明する必要があります。また、学習指導は解き方や内容を教えるとともに「日本語の意味を説明する」ことが重要となり、正しい日本語を使用する必要があります。
- ⑤ EJU の化学の問題は、基礎的基本的な問題が多いです。EJU に合格するためには、そのような問題を取りこぼさないことが重要です。そのため、化学科では、そのような問題の反復学習に力を入れており、宿題やテストを課すこともあります。

## 4 その他

- ① セメスターⅠの授業は教科教員が英語で実施しています。
- ② ローカル教員及びラボスタッフとは英語でやり取りをします。
- ③ 授業でプロジェクターを使用しますので、ノートPC、タブレット等を持参してください。
- ④ プロジェクターとHDMI端子は備品としてあります。
- ⑤ 日本で使い慣れた書籍や教具、デジタル教材などは持ってくると役に立ちます。
- ⑥ 複数回の学生実験を行う予定です。白衣を持参してください。